

「お薬手帳」は保険証と一緒に！！

3.11 から1年…
備えは大丈夫？！

◆いざという時の備えをしましょう！

東日本大震災では、多くの方が「お薬手帳」を活用していたため、被災地での医療がスムーズに行われました。

私たちが暮らす東海地域は、近い将来に大きな地震が発生するおそれがあると言われています。東日本大震災の教訓を活かして、「お薬手帳」を上手に使いましょう。



◆単なる薬のメモにしておくのはもったいない！

「お薬手帳」は、使った薬を記録する手帳ですが、活用法によってはいろいろなことに役立ちます。例えば、処方内容を順に追っていくと、おおよその症状(病状)の経過がわかります。複数の医療機関からの記録があれば、合併症などもある程度わかります。既往歴や薬に対するアレルギー、副作用の記録があれば服用を避けるべき薬もわかります。

このページが空白になっている方が目立ちます。大切な医療情報です。必ず記入しましょう。必要に応じて薬剤師が記録の整理をお手伝いします。

◆大切な記録が漏れていませんか？

自分に不都合(副作用など)のあった薬についての記憶が曖昧になっていませんか？ 記録は残してありますか？

例えば、「風邪薬で尿が出にくくなった」、「鎮痛剤で胃が痛くなった」、「貼り薬でかぶれた。臭いが気になった」、「抗生物質で発疹が出た」・・・など、いかがです？

自分を守るための情報です。できるだけ具体的な原因薬の名前とともに記録しておきましょう。

◆薬剤師がお手伝いします！！

薬剤師は皆さんのお薬を調剤するだけでなく、お薬に関連した情報(薬と症状や副作用の関係、のみ合わせの影響、苦手な薬や剤形など)を記録しています。「お薬手帳」を確認させていただければ、薬剤師が必要な記録の漏れがないように、「お薬手帳」作成のお手伝いをさせていただきます。

◆お薬手帳は保険証と一緒に！

自分に関する医療情報を必要時にすぐに提示できれば、災害時に限らず普段でも医療を適切かつ効率的に受けるために必ず役立ちます。

常に保険証と一緒に携帯するようにしましょう。

あおき薬局では、保険証や診察券と一緒に保管できるお薬手帳カバーを用意しています。必要な方は、遠慮なくスタッフにお申し付けください。



◆◆◆ 「お薬手帳」は、毎回、処方せんと一緒にご提出ください。 ◆◆◆